

学習計画プランナー

入力した目標を、毎日の行動へ

通常の学習計画と共通テスト攻略を、条件入力から保存・見直しまで順に案内します。

The screenshot displays the '学習計画プランナー' (Learning Strategy Workspace) app interface. The left sidebar contains two main sections: '01 基本情報' (Basic Information) and '02 科目別入力' (Subject-wise Input). The '01 基本情報' section includes fields for '名前' (Name), '入塾年月日' (Enrollment Date), '塾生ID' (Student ID), '学校名' (School Name), '学年' (Grade), '学習開始日' (Start Date), '試験日/受験年月日' (Exam Date), '平日の学習時間' (Daily Study Time), and '休日の学習時間' (Study Time on Days Off). The '02 科目別入力' section has tabs for '学習計画' (Study Plan) and '共通テスト攻略' (Common Test Strategy). Under '学習計画', there are input fields for '国語' (Japanese) and '英語' (English) with sub-sections for '中学英語' (High School English) and '読解' (Reading Comprehension). The '読解' section includes a table for '読解 (長文)' (Reading Comprehension - Long Text) and '英文法' (English Grammar) with columns for '現在の点数' (Current Score), '平均点' (Average Score), and '目標点' (Target Score). The right panel shows the '学習計画 | 計画結果' (Study Plan | Plan Result) screen with a '目標達成方針と実施内容' (Goal Achievement Policy and Implementation Content) section. This section contains text about the user's performance and a plan for improvement.

科目	現在の点数	平均点	目標点
国語	0	0	0
英語	62	60	80
読解 (長文)	55	59	80
英文法			

実際のアプリ画面。掲載例の教材・氏名・得点・日程は操作説明用です。

ユーザーズ・オペレーションマニュアル

画面を見ながら進める手順 / 保存と再開 / 困ったときの対処

CONTENTS

目的から探す

初めての方は最初から。操作中は必要な項目へ進んでください。

最初の学習計画を作る	3	画面と2種類の計画を知る	4
Google認証とモデルを準備する	5	基本情報・期間・学習時間を入力する	6
通常の学習計画の科目を設定する	7	共通テスト攻略の目標を設定する	8
参考情報で計画を具体化する	9	生成・中断・再試行を使い分ける	10
4つの結果タブを読む	11	Google Sheets・PDF・JSONで残す	12
保存した計画から再開・見直しする	13	困ったときの確認順	14
毎日の起動・更新・終了	15	リリースノート	16
AI処理の進み具合と再実行	補足		

この本の使い方

目次の項目はクリックできます。画面例はPC表示が中心です。画面の幅や端末によってボタンの折り返し・位置が変わるため、説明にあるボタン名を目印にしてください。

番号付きの手順は上から順に操作します。青緑の図は操作の流れ、表は機能や保存方法の違い、黄色の欄は確認ポイントを示します。

01 / 学習計画プランナー

最初の学習計画を作る

期間・使える時間・科目の状況から、実行できる計画を作ります。



1 認証とモデルを設定する

右上のアカウント・モデル表示を開き、Google認証とGeminiモデルの指定を済ませます。

2 基本情報を入力する

氏名、学校、学年、学習開始日、試験日、平日と休日の学習時間を入力します。

3 「学習計画」で科目を入力する

左側の科目別入力で「学習計画」を選びます。取り組む科目の現在点・平均点・目標点を入れます。

4 参考情報を加えて生成する

使用教材、苦手分野、忙しい日を記入します。入力欄の下にある「学習計画を生成」を押し、完了を待ちます。

5 今週の行動を確認する

目標達成方針、学習スケジュール、科目別計画を読み、実際に確保できる時間や教材と照合します。

まずは小さい計画で

初めは1~2科目、短い期間の条件を用意すると、入力と結果の対応が分かりやすくなります。画面例の架空データは、自分の氏名・得点・日程へ置き換えてください。

画面と2種類の計画を知る

左側で条件を入力し、右側で生成した内容を確認します。



実画面：学習計画のサンプルを読み込んだ状態。左が入力、右が結果です。

使いたい計画	選ぶタブ	入力の中心
定期テスト・日々の学習	学習計画	科目の現在点・平均点・目標点、期間と学習時間。
共通テストに向けた準備	共通テスト攻略	現在得点・目標得点・課題を科目ごとに設定。

計画種別を切り替えると、科目の入力欄と生成ボタンが切り替わります。生成ボタンを押す前に、左側の選択タブと右側の結果タイトルを確認します。

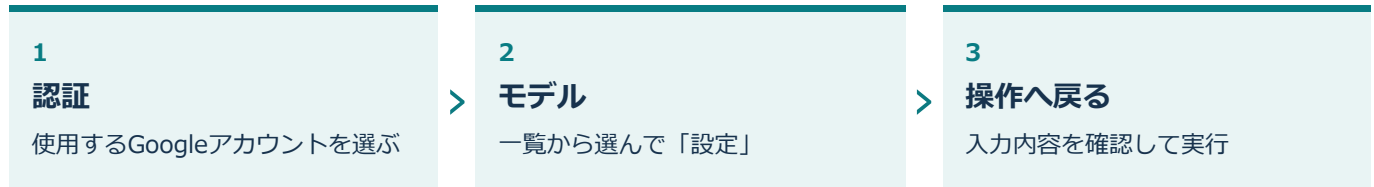
画面に入り切らないとき

左側の入力欄を下へスクロールすると、参考情報と生成ボタンがあります。画面が狭い端末では配置が変わるので、見出しとボタン名を目印に探します。

03 / 学習計画プランナー

Google認証とモデルを準備する

AIを使う前に、保存先のアカウントと使用モデルを確認します。



1 右上のアカウント・モデル表示を押す

「Google未認証」やアカウント名、Geminiモデル名があるボタンを開きます。

2 Google認証を完了する

設定・認証ボタンから認証画面を開きます。使用するアカウントと権限を確認して進みます。

3 モデルを選んで「設定」を押す

Geminiモデルの一覧から指定します。画面上部に選んだモデル名が表示されたことを確認します。

4 元の操作を実行する

入力画面へ戻り、生成・分析などのボタンを押します。入力が不足している場合は、その案内に従って補います。

こんなとき	確認すること
認証画面が開かない	ブラウザのポップアップ制限を確認し、許可後に認証ボタンを押し直します。
履歴が見つからない	保存時と同じGoogleアカウントか確認します。アカウントを変えると履歴の参照先も変わります。
モデルが選べない	通信状態を確認して設定を開き直します。一覧が取得できるまで実行を待ちます。

共有端末で使うとき

画面のアカウント名を毎回確認します。アカウント変更は設定内の切替操作を使い、履歴を開く前に切替先の名前を確認してください。

04 / 学習計画プランナー

基本情報・期間・学習時間を入力する

予定どおり使える時間を設定し、無理な計画を防ぎます。

項目	入力・確認のポイント
苗字・名前	対象の生徒を区別できる表記にします。例：計画／花子。
入塾年月日	8桁の年月日。例：20260901。氏名と合わせて塾生IDを自動表示します。
学校名・学年	学習範囲の前提になります。選択内容を確認します。
学習開始日	実際に取り組み始められる日を選びます。
試験日／受験年月日	締切となる日です。開始日より後の日付か確認します。
平日・休日の学習時間	睡眠・部活・通学を除いた時間を入力します。毎日確保できない時間を入れないようにします。

入力例：4週間で数学と英語を見直す

平日は1.5時間、休日は3時間。火曜と木曜は部活動のため復習中心。試験の前日に新しい単元を詰め込まず、確認問題と見直しに充てる。このような条件は「参考情報」に書きます。

IDは手入力しません

苗字・名前・入塾年月日がそろって、「入塾年月日-苗字-名前」の形式で表示されます。IDが空のときは、3つの入力と日付の桁数を確認してください。

05 / 学習計画プランナー

通常の学習計画の科目を設定する

計画へ含めたい科目の状況を、同じ尺度で入力します。

1 「学習計画」を選ぶ

科目別入力にあるタブを押します。国語・英語・数学などのグループを開き、必要な科目を表示します。

2 現在点・平均点・目標点を入れる

直近のテストなどをもとに入力します。同じテスト・同じ満点の値を使うと、差を比較しやすくなります。

3 対象科目を確認する

入力した科目が計画対象になります。空の科目まで計画に入ると思い込まず、必要な科目の入力がそろっているか確認します。

4 課題を参考情報へ補う

「計算はできるが文章題の立式で止まる」のように、得点だけでは分からない状態を書きます。

例	現在点	平均点	目標点
数学の対象科目	58	65	75
英語の対象科目	62	68	80

数字が示さないことも補う

点数が低い理由は、知識不足・読み間違い・時間不足などさまざまです。分かる範囲で原因を書くと、学習内容を絞りやすくなります。全角数字は入力確定時に半角へ変換されます。

共通テスト攻略の目標を設定する

科目別の得点差と、長期の準備を考えるための入力です。

01 基本情報

苗字 名前 入学年月日
受験 大塚 2026/09/01
塾生ID (入学・入学年月日から自動生成) 学校名 学年
20260901-受験-大塚 サンワ総合高等学校 高校3年
学習開始日 試験日/受験年月日
2026/11/16 日 2027/01/19 日
平日の学習時間 休日の学習時間
2 4

02 科目別入力

目標割合を一括設定 (%) 8~100 適用
学習計画 共通テスト攻略
大学入学共通テスト専用の科目・現在得点・目標点・差分・課題を入力します。
国語 5科目

☐ 評論 (45) 現在得点 0 目標点 0 差分 0
課題・教材

☐ 小説 (45) 現在得点 0 目標点 0 差分 0
課題・教材

☐ 実用的文章 (20) 現在得点 0 目標点 0 差分 0
課題・教材

共通テスト攻略 | 計画結果

Google Sheets PDF JSON JSON連携

入力情報 戦略サマリー 総合計画 科目別計画

受験学習の戦略サマリー

項目	戦略サマリー内容
現状分析と目標	現状、各科目で目標点までの20点の乖離があり、特に数学I・IIの基礎力・応用力、英語リーディングの時間内読解能力が課題。目標達成には、①得点単元の克服、②時間配分戦略の確立、③ケアレスミスの削減が不可欠。8週間の短期集中で、知識の精度と解法スピードを段階的に高める。
学習の全体スケジュール	学習期間を3つのフェーズに分割。第1期「基礎徹底・融合期」(11/16-11/29)では読解分析を通じて得点単元の深い出し入れと基礎に集中。第2期「実技力養成期」(11/30-12/27)では大問別時間計差から本番形式演習へ移行し、得点戦略を確立。第3期「直前演習・調整期」(12/28-1/10)では読解の完全定着と生活リズム調整で万全の状態を創り上げる。
全教科共通の成否の鍵	成否の鍵は「読解分析の徹底」と「反復による定着」。なぜ間違えたか(知識不足、計算ミス、時間不足、勘違い)を言語化し、誤答ノートに記録する。学習した問題が翌日から1週間後に再テストし、知識を長期記憶に定着させる。2週ごとの進捗検証(正答率、同一誤答再発率等)に基づき、計画を柔軟に修正し、必要であれば基礎補強へ時間を再配分する。
サンプルの期間と出題方式	2027年1月10日はこの計画の最終確認日であり、本試験日ではない。数学I・Aは全問解答。数学II・B・Cの選択範囲は数II・統計的な推測・ベクトル・平面上の図形と複素数平面の4項目から3項目。学校での学習状況を確認して選択範囲を定める。
学習時間の割合	通常週18時間(読解5・リスニング3・数学I・A4・数学II・B・C6)。第7週は15時間(4・2.5・4・4.5)。8週間合計141時間。解き直し・再テストはこの中に含む。
計画の修正基準	2週ごとに読解再発率と模範説明率を確認。基本問題の正答率が70%未満なら、次週の発展演習1時間を同科目の基礎補強へ置き換える。総時間と確認時間は増減しない。

共通テスト攻略のJSONを読み込みました。

実画面：共通テスト攻略のサンプル。目標点と現在得点は自身の条件へ変更します。

1 「共通テスト攻略」を選ぶ

専用の科目入力へ切り替わります。受験に使う科目と課題を確認します。

2 現在得点と目標得点を入力する

初期値の0が実際の状況を表しているか見直します。得点差は自動計算されます。

3 一括設定後も科目を確認する

「目標割合を一括設定 (%)」は配点に割合を掛け、四捨五入した整数を目標点へ入れます。たとえば100点満点の80%は80点です。必要に応じて各科目を調整します。

一括設定の計算上の前提

このアプリでは国語以外を100点満点として計算します。利用する得点の尺度を合わせて入力してください。実際に自分が受験する科目や条件を、参考情報にも明記します。

8

07 / 学習計画プランナー

参考情報で計画を具体化する

「どの教材を、いつ、どれくらい進めるか」を伝えます。

伝える内容	入力例
使う教材	学校の教科書、授業プリント、標準問題集。未習の参考書は使わない。
弱点	数学は計算より立式が苦手。英語は指示語と要約で失点。
時間の制約	火曜と木曜は30分だけ。土曜は模試のため新規学習なし。
到達目標	解説を見ずに例題を解ける。間違えた問題を翌日と1週間後に解き直す。
優先順位	数学を先に固め、英単語は毎日15分を続ける。
遅れへの対応	終わらない場合に残す必須課題と、後回しにできる課題を分けたい。

参考ファイルを添える

「参考ファイルを追加」から、TXT・Markdown・CSV・JSON・画像・PDFを選べます。教材の範囲、過去の計画など、今回の条件を判断するのに必要なものを選び、一覧のファイル名を確認します。

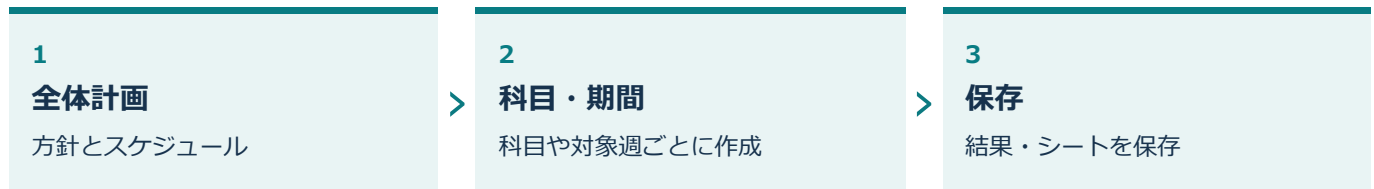
あいまいな指示を具体的に

「頑張る計画」より「平日90分、数学の二次関数を2週間で復習し、週末に確認テスト」のように、期限と量を書きます。教材のページが分からない場合は、章名・単元名を使います。

08 / 学習計画プランナー

生成・中断・再試行を使い分ける

長い計画は複数の工程に分けて作成されます。



1 対応する生成ボタンを押す

通常計画は「学習計画を生成」、共通テストは「共通テスト攻略計画を生成」です。期間と対象科目を見直して押します。

2 現在の工程を確認する

ログには工程番号、科目、対象期間、経過時間が表示されます。科目や期間によって完了までの時間は変わります。

3 必要な場合だけ中断する

赤い「生成を中断」で停止します。ログの×は表示を閉じる操作で、生成の中止にはなりません。

4 自動再試行と結果を確認する

一時的な通信エラーは自動で再試行します。回復できない場合は入力を保持して待機を終了するので、原因を確認してから元の生成ボタンで再実行します。

待機中は、まだ失敗とは限りません

ログの経過時間や工程名、自動再試行の案内を見ます。待機が終了した場合は、残っている入力とエラーの内容を確認し、通信や設定が回復してから再実行してください。

4つの結果タブを読む

結果を採用する前に、入力条件と時間配分を点検します。

01 基本情報

苗字 名前 入学年月日
受験 大郡 20260901
塾生ID (自由・入学年月日から自動生成) 学校名 学年
20260901-受験-大郡 サンワ総合高等学校 高校3年
学習開始日 試験日/受験年月日
2026/11/16 日 2027/01/19 日
平日の学習時間 休日の学習時間
2 4

02 科目別入力

科目別入力

学習計画

共通テスト攻略

大学入学共通テスト専用の科目・現在得点・目標点・差分・課題を入力します。

国語

現在得点 目標点 差分

0 0 0

課題・教材

小説 (45)

現在得点 目標点 差分

0 0 0

課題・教材

実用的文章 (20)

現在得点 目標点 差分

0 0 0

課題・教材

共通テスト攻略 | 計画結果

Google Sheets PDF JSON JSON連携

入力情報 戦略サマリー 総合計画 科目別計画

科目別計画

英語 (リーディング)

課題分析

分析項目	内容
時間配分と速読能力の不足	現在得点64点から、試験時間内に全問題を余裕を持って解き終わらせていない可能性が高い。特に情報量の多い後半の大問で取りこぼし、正答率が低くしている点に留意される。目標達成には、時間管理能力と文章を迅速に理解する能力の向上が不可欠。
精読の正確性欠如	時間不足だけでなく、複雑な構文や細かな論理関係を含む問題で失点している可能性。単語や文法の知識が曖昧なため、文の構造を正確に把握できず、内容を誤読している箇所が存在する。解答の根拠を明確に説明できない問題が多い状態。
情報処理戦略の未確立	設問で問われている情報 (大意か、特定情報か) に応じて、スキミングとスキミングを使い分ける戦略が確立されていない。全ての文章を同じように読んでしまうため、時間と集中力を非効率に消費し、結果として時間不足やケアレスミスを招いている。
誤答分析と復習の非効率性	間違えた問題の原因分析が不十分で、同じタイプの誤りを繰り返している可能性が高い。なぜその選択肢が正解で、他が不正解なのかを言語化して復習する習慣が不足しており、知識が定着していない。

週次・月次スケジュール

時期	週/月次	学習テーマ	具体的な実施内容	使用教材・ページ	所要時間(目安)	到達目標
2026年11月	第1週 (2026/11/16~2026/11/22)	現状分析と誤答分析	共通テスト形式演習を1回分、時間無制限で解き、自己採点。全設問の正誤の理由を確認し、誤答を「得意・文法」「文法把握」「読解戦略」「時間不足」等に分類しノートに記録する。	共通テスト形式演習集、読解ノート	5時間	全設問の正解完了。失点の主要因を3つ特定し、根拠説明率60%達成。
	2026/11/29	元融合と誤答復習	第1週で特定した失点分野 (例: 読解・グラフ問題) を問題集で集中演習	学校採用問題集、誤答ノート	5時間	弱点分野の正答率70%以上。第1週の誤答再

実画面：科目別計画。長い計画は結果欄をスクロールして読みます。

タブ	確認すること
入力情報	氏名・期間・科目・得点が今回の条件か。以前の条件が残っていないか。
目標達成方針	優先順位、到達目標、学習の進め方に納得できるか。
学習スケジュール	学校行事、部活、休息を含めて実行できる量か。
科目別計画	具体的な教材・演習・復習・到達基準が明確か。

長期計画の読み方

共通テスト攻略の科目別計画では、第1～8週は週次、第9週に当たる日以降は月次で表示します。後半を細かく進める際は、残り期間と現在の状況を整理して新しい計画を作ります。

10 / 学習計画プランナー

Google Sheets・PDF・JSONで残す

計画を実行する場所と、後で開き直す方法を選びます。

操作	保存・表示されるもの	使う場面
Google Sheets	生成時に保存したスプレッドシートを開く。	計画を編集・共有しながら使う。
PDF	入力情報と計画を印刷用に出力。	紙で確認する、配布する。
JSON	入力条件と結果を端末へ保存。	同じアプリに読み込んで再表示する。
履歴	Google Drive上の過去の計画を一覧表示。	以前の条件と結果を振り返る。

Google Sheetsの保存場所

計画生成時のスプレッドシートは、認証したアカウントの「マイドライブ / 000Faith-SW-学習計画」へ1件保存されます。結果欄の「Google Sheets」は保存済みのシートを開きます。先頭の入力情報と各表を確認してください。

PDFを保存する

「PDF」を押し、印刷画面で「PDFに保存」を選びます。表の見出し、行の分割、ページ数を確認して保存します。ファイル名は「プランナー_機能名_YYYYMMDDhhmm-詳細.拡張子」が目印です。

編集した場所を区別する

Google Sheetsで編集した内容が、アプリ画面の計画へ自動で戻るとは限りません。アプリの計画を作り直したいときは、入力条件を更新して再生成します。

11 / 学習計画プランナー

保存した計画から再開・見直す

以前の条件を再利用しながら、現在の状況に合う計画へ進めます。

1 履歴から開く

上部の「履歴」を押し、右パネルで計画を選びます。保存したGoogleアカウントで認証しているか確認します。

2 JSONから開く

結果欄の「JSON読込」で、学習計画プランナーが保存したJSONを選びます。現在の入力と結果が置き換わるため、必要な内容は先にJSONで保存します。

3 計画の条件を見直す

終了した期間、現在の得点、残りの教材、次の試験日、学習時間を入力し直します。

4 新しい計画を生成する

今回の条件で生成します。旧計画と比べたい場合は、先にPDFやJSONを保存しておきます。

1

前の計画

履歴／JSONで確認

>

2

現状を入力

得点・残り時間・課題

>

3

次の計画

生成して再確認

入力の保存と、生成した計画は別です

入力中の内容は同じブラウザーでの再開に使われます。科目の点数や予定を変えても、既に生成された計画の内容をそのまま最新と見なさず、新しい条件で作直してください。

履歴が更新されない場合は、右パネルの更新ボタンを押します。削除は対象をよく確認してから行い、必要な計画は事前にJSONまたはPDFへ保存します。

12 / 学習計画プランナー

困ったときの確認順

まず入力と計画種別を確認し、次に認証・処理ログを見ます。

症状	確認・対処
生成ボタンが見つからない	左側の科目入力と参考情報の下までスクロールします。選択中の計画種別に対応するボタンが表示されます。
科目が計画に入らない	対象の計画タブを開き、その科目の得点や課題が入力されているか確認します。
塾生IDが空	苗字・名前・8桁の入塾年月日を確認します。
認証後も生成できない	Geminiモデルを選んで「設定」を押したか、期間と対象科目がそろっているかを確認します。
生成が長い・止まった	ログで科目・工程・経過時間と自動再試行の案内を確認します。回復できない場合は入力条件を残して待機を終了します。原因を確認して再実行してください。
Sheetsが開かない	認証アカウント、保存の完了、ポップアップ許可を確認します。
履歴がない	保存時のアカウントに切り替え、履歴の更新ボタンを押します。
時間配分が現実と合わない	使える時間・教材量・休む日を参考情報へ明記し、条件を直して再生成します。

計画を使い続けるために

計画は学習の補助です。実行して分かった負担や遅れを次の入力へ反映し、休息も含めて続けられる量に調整します。

13 / 学習計画プランナー

毎日の起動・更新・終了

ブラウザから利用でき、対応する端末ではアプリとして追加できます。

端末	追加の操作
WindowsなどのPC	アプリ内の「インストール」、またはブラウザのインストール機能を使います。表示名や場所はブラウザによって異なります。
iPad・iPhone	Safariで開き、共有メニューから「ホーム画面に追加」を選びます。
その他の端末	ブラウザにアプリ追加・ホーム画面追加の項目がある場合に利用できます。

終了前にすること

1 処理中か確認する

AI処理やファイルの保存が進行中なら、完了または中断を確認します。ログ枠を閉じるだけでは処理の中止にならない場合があります。

2 残したい結果を保存する

共有・印刷用ならPDF、画面へ戻す用途なら各アプリのJSONや履歴など、目的に合う方法で保存します。

3 次回の入口をそろえる

端末内のデータを使うときは、同じ端末・同じブラウザ・同じアプリのURLから開きます。

古い画面が表示されるとき

作業を保存してからページを再読み込みします。インストール済みアプリは一度終了して開き直します。先にサイトデータを消すと、端末内の下書きや注釈を失う場合があるため、保存を済ませてください。

アプリの削除と保存データ

削除は端末のアプリ一覧やホーム画面から行います。Google Driveへ保存したデータと端末内データは保存場所が異なります。大切なファイルは削除前に別途保存してください。

AI処理の進み具合と再実行

計画の生成中

全体計画、科目、対象期間ごとの進み具合をログで確認できます。一時的な通信エラーは自動で再試行します。「生成を中断」を押すと、応答待ちや再試行の待機も終了します。

混雑・通信切断・不完全な応答

一時的な混雑や通信の失敗、本文が欠けた応答は、待ち時間を置いて自動で再試行します。処理ログで状況を確認し、同じ実行ボタンを続けて押さずにお待ちください。再試行には回数と待機時間の上限があります。

処理が完了しなかったとき

自動で回復できない場合はエラーを表示し、応答待ちを終了します。入力した内容は残るので、エラーの原因を確認し、必要な条件を直して元の実行ボタンから再実行してください。中止ボタンのある機能は、待機中や再試行中も中止できます。

認証・利用上限の案内が出たとき

Google認証やGeminiモデルの設定を確認します。利用上限・権限不足・使用できないモデルの案内は、同じ要求を繰り返しても解決しません。画面の案内に従って設定を確認するか、利用可能になるまで待ってから再実行してください。

Googleドライブから開く・保存する

ファイルを開くときや書き出すときは、読み込み元・保存先で「端末」または「Googleドライブ」を選びます。Googleドライブを利用するときは、先にアプリのGoogle認証を完了してください。Drive画面に表示される認証アカウントを確認します。フォルダーは選択ウィンドウの横幅いっぱい、階層が分かるツリー形式で表示します。「選択して開く」「このフォルダーに新規保存」「キャンセル」などの操作ボタンはツリーの右下にあります。フォルダー行をクリックすると選択され、子フォルダーがある場合は展開・折りたたみが切り替わります。選択中のフォルダーは緑色で強調され、上部にその階層を表示します。読み込み時は選択したフォルダーを展開し、ツリー内に表示されるファイルへチェックを付けます。ファイル名でDrive全体を検索すると、ツリー内の「Drive全体の検索結果」から選べます。「フォルダーツリーを更新」で最新のフォルダー一覧を取得できます。複数選択に対応した操作では、複数のファイルにチェックを付けられます。

保存するときは保存先フォルダーとファイル名を指定し、「このフォルダーに新規保存」を押します。同名のファイルがあっても上書きせず、新しいファイルとして保存します。保存後はGoogleドライブで保存先フォルダーのファイルを確認できます。「キャンセル」で操作を中止できます。カメラ撮影とフォルダー一括取り込みは端末から行います。Driveの通常ファイルの読み込みと保存は16MBまでで、各操作が対応する形式だけを選択できます。音声を扱う操作では、MP4は16MBを超えていても選択でき、取り込み時に音声をMP3へ変換します。端末から選んだMP4も同様に変換します。音声がないMP4や対応していない音声形式は変換できません。変換の進捗を表示し、「キャンセル」で中止できます。大きなファイルは読み込みと変換に時間がかかります。Googleドキュメント・スプレッドシート等はPDFやTXT等へ書き出してから選択してください。認証エラーが出た場合は選択画面を閉じ、アプリでGoogle認証をやり直してください。ブラウザーの印刷画面で行うPDF保存は、印刷画面の保存先を使います。

つまずきの確認と後日の復習

上部の薄緑色の「つまずき・復習」を開き、「現在の教材を取り込む」で対象の1設問・文章を確認します。教科、単元、学年、自分の答案を必要に応じて直し、解答や翻訳を既に見た場合はチェックを付けます。不要な個人情報や範囲は取り除いてください。「この範囲でつまずきを確認」から、最大3つの短い質問に選択肢で答えます。「分からない・飛ばす」も選べます。

原因候補は「仮説」「確認課題で支持」「未特定」を区別します。違う点は訂正欄へ入力し、問診をやり直せます。文字や条件が読めない場合は資料を直して、新しい学習を開始してください。AIの判定に違いがあれば、試行の詳細から理由を入力して保留にできます。

元の問題、原因を確かめる1問、同じポイントの練習、考え方の説明、条件を変えた応用、後日の再確認を選べます。ヒントは着目箇所・使う知識・最初の一手の3段階です。答えは「解答・解説を見る」で表示します。ヒント・答え・原文を使った成功と、自力でできた成功は別に記録されます。「自力でできた」という自己申告だけでは習得確認になりません。

新しい確認問題で自力正答すると、翌日・3日後・7日後の復習候補が入ります。日付は変更できます。「履歴・今日の再確認」から保存済みの学習を再開します。途中の選択や答案は端末に保存され、Googleアカウントごとに区別されます。生成にはGoogle認証と通信が必要です。中断時は同じ操作を再実行でき、別の操作が先に進んだ場合は「サーバーの進行を再開」を押します。

「Driveへ保存」で学習記録を保存できます。「学習支援JSON保存」で書き出し、他の対応アプリで「学習支援JSON読込」を押すと、学習者・内容・版を確認してから取り込めます。同じ版・古い版は重複登録しません。別アプリから取り込んだ原因は計画に利用でき、AIによる練習を再開するときは原因を訂正して問診をやり直します。要約はテキスト・PDF・Google Docsへ出力でき、PDFはブラウザーの印刷画面で保存します。JSONには添付資料も含まれるため、共有先を確認してください。

復習を計画に組み込む

学習者を指定し薄緑色の「復習を計画する」を開きます。科目・技能・原因・教材を手入力するか、「つまずき・復習」で読み込んだ記録の「復習計画へ取り込む」を押します。原因が不明なときは原因確認から始められます。

開始日・期限、平日と休日の利用可能時間、既存予定で使う時間を確認して「見直し案を作成」を押します。原因確認、確認練習、自己説明、条件変更、後日確認を配置します。空き時間や期限が足りない活動は「配置待ち」となります。案を確認して「この案を適用」を押すまで日程は変更されません。

活動ごとに固定、実施状態、実績分、自己申告の結果を記録できます。完了・途中・固定済みの予定と過去の実績は見直しで保持します。活動の完了は、自力で解けた根拠とは別です。通常の学習計画と共通テスト攻略は別々に保存されます。計画・実績はJSONやPDFへ保存でき、通常計画のDrive保存・JSON出力・Sheets出力にも含まれます。

資料の準備中は完了まで待ってください。「応答中断」で準備を止めた場合も、対象の本文を確認して再開できます。保存済みの学習は、履歴で対象の資料と学習者を確認してから再開してください。

別の端末で履歴を開いたときなどに「サーバーの再開情報がありません」と表示された場合は、原因の訂正欄に「再開のため」と入力し、問診をやり直してください。これまでの答案・試行と復習予定を残して続けられます。

アプリの更新案内

ページ更新が必要な更新を検出した場合だけ、案内ダイアログを表示します。作業中の内容を保存してから、ブラウザーのページ更新（円の矢印マーク）を押してください。案内を閉じて自動では再読み込みしません。更新済みの場合や、更新を確認できない通信状態では表示しません。

PDFの保存先を選ぶ

PDF保存・PDF出力・印刷の操作では、アプリ内で「端末」または「Googleドライブ」を選びます。Googleドライブを選ぶと認証済みアカウントのフォルダーツリーを表示するので、保存先とファイル名を指定して「このフォルダーに新規保存」を押してください。同名のファイルがある場合も新しいファイルを作成します。取り消しても表示内容は残ります。端末を選んだ場合は、ブラウザーの印刷画面またはファイル保存画面で保存します。

Googleドライブへ出力するPDFは、Googleの文書形式に合わせて表・文章を整えるため、端末の印刷PDFとページ区切りや配置が異なる場合があります。保存できるファイルは16MBまでです。

PDF保存時の表示

PDF保存では、別のプレビュー用ウィンドウを開かず、元の画面で保存先選択を表示します。「端末」または「Googleドライブ」を選んでください。端末を選ぶとブラウザーの印刷・保存画面に進みます。キャンセルしても元の内容は残ります。

つまずき・復習ウィンドウの操作

「つまずき・復習」は独立したウィンドウで開きます。最上部のタイトルバーをつかむと、元のブラウザーの外へも移動できます。外枠の四辺・四隅で拡大・縮小できます。画面内の見出しや余白では移動しません。「閉じる」またはウィンドウの閉じるボタンで閉じ、同じボタンから再開できます。元のアプリを閉じると、このウィンドウも閉じます。開けない場合はブラウザーでこのアプリのポップアップを許可してください。

Gemini応答の中断

Geminiの応答中は、応答ログまたは処理中のウィンドウの中断ボタンで停止できます。入力と添付資料は保持され、同じ操作で再実行できます。つまずき・復習では「Gemini応答ログ」を開いて中断できます。

リリースノート

アプリの修正・追加内容を新しい順に掲載します。マニュアル自体の更新内容ではなく、過去の履歴も継続して掲載します。

公開日	アプリの修正・追加内容
2026年10月10日	Gemini応答を、応答ログと処理中のウィンドウから中断できるようにしました。中断後も入力と添付資料を保持します。
2026年10月10日	つまずき・復習を独立ウィンドウに変更し、ブラウザーの外への移動と標準の外枠による拡大・縮小に対応しました。閉じて開き直しても入力・問診・学習内容を保持します。
2026年10月10日	PDF保存の際に別のプレビュー用ウィンドウを表示せず、元の画面で保存先選択を行うようにしました。
2026年10月10日	PDF保存・出力の保存先でGoogleドライブを選び、フォルダーとファイル名を指定してPDFを保存できるようにしました。端末への印刷・保存も選択できます。
2026年10月10日	アプリの更新内容を判定し、ページ更新が必要な場合だけ、保存してからブラウザーの円の矢印マークを押す案内を表示します。
2026年10月10日	- Googleドライブのフォルダーツリーを選択ウィンドウの横幅いっぱいに表示し、開く・保存・キャンセルのボタンをツリー右下に配置しました。 - ファイル選択時は、選択したフォルダー内の対応ファイルをツリー内に表示し、チェックを付けて開けます。 - 音声入力で、サイズ上限を超えるMP4も選択し、取り込み時にMP3へ変換できるようにしました。
2026年10月09日	追加した学習支援ボタンの文字を濃く太くし、背景との見分けやすさを改善しました。マウスを重ねたときや操作できない状態でも文字を読み取れます。
2026年10月09日	Googleドライブのフォルダー選択を、階層を展開・折りたたみできるツリー形式に変更しました。選択したフォルダーを強調表示し、読み込み元・保存先を確認できます。
2026年10月09日	保存した学習履歴にサーバー側の再開情報がない場合も、過去の試行を保持して問診から続けられるようにしました。

公開日	アプリの修正・追加内容
2026年10月09日	学習支援の資料準備中の中断と、保存記録を読み取る互換性を改善しました。
2026年10月09日	- つまずきの問診、3段階ヒント、原因別の確認問題、自己説明・応用、日を空けた再確認を追加しました。 - ヒントや解答の利用と自力成功を分けて記録し、学習支援履歴の保存・JSON連携に対応しました。 - 復習活動の時間配分、見直し案の確認、実績と旧計画の保持に対応しました。
2026年10月09日	Googleドライブで選択した保存先へファイルを新規保存する処理を改善しました。
2026年10月09日	ファイルの読み込み元と保存先で、端末に加えて認証したGoogleドライブを選べるようにしました。
2026年10月05日	- 計画生成中の一時的なGemini通信エラーを自動で再試行し、不完全な応答や途切れた受信を検出するようにしました。 - 認証・利用上限などで生成を続けられない場合は待機を終了し、入力条件を保持したまま確認・再実行できるようにしました。
2026年09月11日	- 初回起動時に、学習計画と共通テスト攻略の2種類のサンプルを切り替えて確認できるようにしました。 - 端末へ保存したJSONから、入力条件と計画結果をまとめて再表示できるようにしました。 - PDF・JSON・Google Driveへ保存するファイル名に、機能名、日時、対象科目、期間を含めるようにしました。
2026年09月06日	- GoogleアカウントとGeminiモデルを同じ設定画面で確認・変更できるようにしました。 - アカウント、端末、アプリごとに選択したGeminiモデルを利用できるようにしました。